

静岡県ヤングケアラー 実態調査の概要

令和4年6月
静岡県健康福祉部
こども未来局こども家庭課

目次

1	ヤングケアラーの実態調査について	2
2-1	ヤングケアラーの実態調査結果のポイント	3
2-2	回答の集計結果	
	(1) ケアしている人の有無	4
	(2) ケアの相手	4
	(3) ケアの内容	5
	(4) ケアの頻度	6
	(5) ケアの時間	7
	(6) ケアを行う上であてはまること	8
	(7) ケアを行うことにきつさを感じるか	9
2-3	性別やケアの相手別における状況（クロス集計）	
	(1) 性別によるケアの有無	10
	(2) 性別によるケアの相手	10
	(3) 性別によるケアの頻度	11
	(4) 性別によるケアの時間	11
	(5) 相手によるケアの頻度	12
	(6) 相手によるケアの時間	13
	(7) 相手によるケアの内容	14
2-4	ケアを行うことによる学校生活・身体等への影響（クロス集計）	
	(1) ケアの時間による学校生活等への影響	15
	(2) ケアの内容による学校生活等への影響	16
	(3) ケアの相手による学校生活等への影響	17
	(4) ケアの時間による身体等への影響	18
	(5) ケアの内容による身体等への影響	19
	(6) ケアの相手による身体等への影響	20
2-5	自由記述欄（主な意見）	21
3	実態調査結果を踏まえた支援の必要性に関する考察	23

1 ヤングケアラーの実態調査について

1 目的

- ・ヤングケアラーは、年齢や成長度合いに見合わない重い責任や負担を負うことで、本人の育ちや教育に影響があるといった課題があるとされているが、家庭内のデリケートな問題、本人や家族の自覚がないといった理由から、支援が必要であっても表面化しにくい構造になっていると言われている。
- ・静岡県において、ヤングケアラーに対する支援策を検討するため、県内全域において「静岡県ヤングケアラー実態調査」を実施し、ヤングケアラーと思われる子どもの実態を調査した。

2 調査方法

幅広く調査を行うため、**小学5、6年生、全中学生、全高校生を対象にアンケート調査を実施した。**

静岡県内の政令市を含む国立、公立（県立、市町立）及び私立学校の児童・生徒を対象に実施した。具体的な調査対象は以下のとおりである。

(1) 調査対象学年及び人数

学校	学年	対象校数	対象人数
小学校	5年生・6年生	498校	65,239人
中学校	全学年	290校	97,742人
義務教育学校	全学年	1校	71人
高等学校	全学年	138校	93,914人
合 計		927校	256,966人

(2) 調査の方法

「ヤングケアラー実態調査票」を各学校に送付し、学校を通じて児童・生徒本人が回答し、各学校を通じて回収した。

(3) 調査期間

令和3年10月～令和4年1月

(4) 回収率

913校 235,458人 回収率 91.6%

2-1 ヤングケアラーの実態調査結果のポイント

○家族のケアをしているのは、全回答者の4.6%（10,782人/235,458人）で、およそ22人に1人。低年齢層（小学校）でも、一定数が家族のケアをしている。

小学生 5、6年生 5.0%（3,034人/60,244人）

中学生 5.0%（4,354人/87,865人）

高校生 3.9%（3,394人/87,349人）

○ケアをしている家族は、「兄弟姉妹」や「母親」の割合が高い。小学生では「母親」の割合が相対的に低く、高校生では「兄弟姉妹」の割合が相対的に低い。

○ケアをしている生徒・児童の中には、過重な負担でない「お手伝い」なども含まれているが、ケアをしている回答者の約4分1（2,382人/10,782人）※が学校生活等への影響があり、「学校に行きたくてもいけない」「進路変更を考えざるを得ない」など、深刻な影響を受けている児童・生徒も存在する。

※全回答者に占める割合は1.0%（2,382人/235,458人）

○ケアに要する1日あたりの時間が長いほど、学校生活等に影響が生じている。

一方で、1日あたり7時間以上ケアをしても特にきつさは感じていない回答もあり、ケアをするのが当たり前で、きつさを十分に自覚できていない児童・生徒がいることが推察される。

○自由記述欄からは、「母子家庭のため家事をしている」「兄弟が障害を持っているため面倒を見ている」「親が病気のため世話をしている」などのほか、「日本語が苦手な親に代わって通訳をしている」などの意見もあり、様々な家庭環境の中で、児童・生徒が身体的・精神的な負担を伴う家族へのケアを担っていることが窺われる。

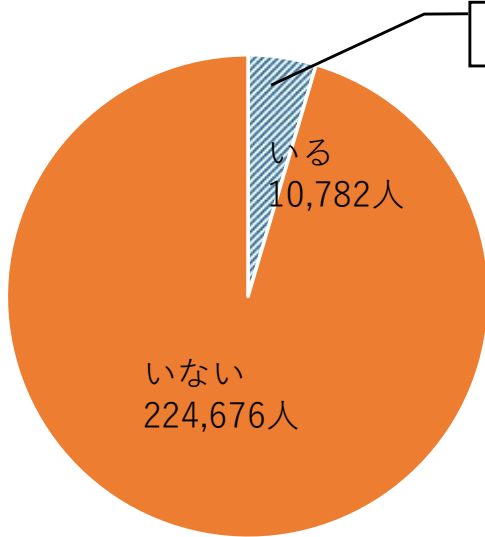
○「ケアしている人同士で交流したりして「私だけじゃない」という意見を持たせることも大事なのかと思った。」「大人は怖くて、相談できない人もいます。」などの回答もあり、気軽に相談できる場や相手が必要。

2-2 回答の集計結果

【2-2 (1) ケアしている人の有無】

◆家族の「ケアをしている」割合は4.6%（10,782人）である。

◆国が実施した調査と対比すると、ケアをしている割合が全体的に低い傾向である。



n = 235,458

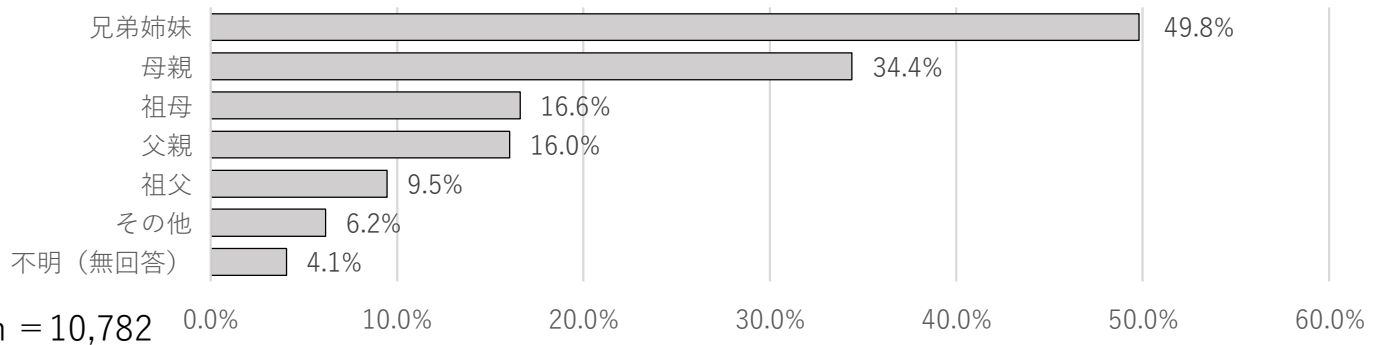
	回答数	ケアをしている人の有無	
		いる	いない
合計	235,458	10,782 4.6%	224,676 95.4%
小学生計	60,244	3,034 5.0%	57,210 95.0%
国調査	9,759	636 6.5%	7,123 93.5%
中学生計	87,865	4,354 5.0%	83,511 95.0%
国調査	5,558	318 5.7%	5,240 94.3%
高校生計	87,349	3,394 3.9%	83,955 96.1%
国調査	7,407	307 4.1%	7,100 95.9%

※国は小6・中2・高2の調査。合計の割合は公表されていない。
※県は高校生に定時制・通信制生徒を含む。

【2-2 (2) ケアの相手】 (複数回答)

◆ケアの相手として、「兄弟姉妹」「母親」が高い。

◆ただし、小学生では「母親」の割合が相対的に低く、高校生では「兄弟姉妹」の割合が相対的に低い。

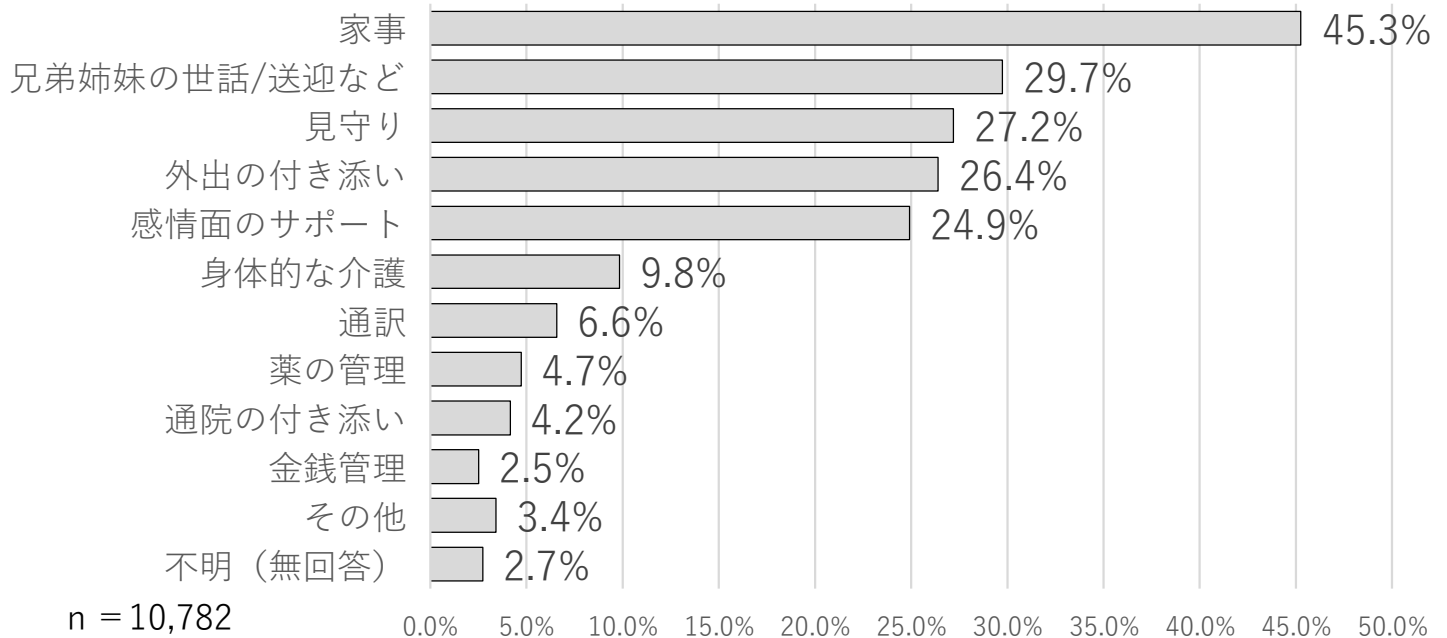


n = 10,782

	回答数	兄弟姉妹	母親	祖母	父親	祖父	その他	不明 (無回答)
合計	10,782	5,374 49.8%	3,713 34.4%	1,792 16.6%	1,728 16.0%	1,026 9.5%	668 6.2%	437 4.1%
小学生計	3,034	1,612 53.1%	895 29.5%	412 13.6%	432 14.2%	255 8.4%	176 5.8%	206 6.8%
中学生計	4,354	2,318 53.2%	1,550 35.6%	730 16.8%	737 16.9%	416 9.6%	297 6.8%	77 1.8%
高校生計	3,394	1,444 42.6%	1,268 37.4%	650 19.2%	559 16.5%	355 10.5%	195 5.8%	154 4.5%

【2-2 (3) ケアの内容】 (複数回答)

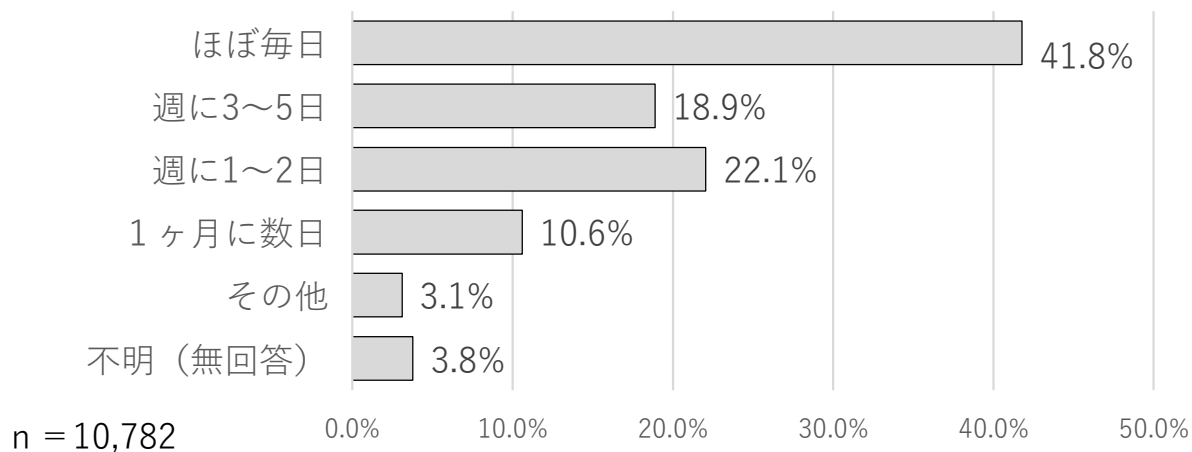
- ◆ケアの内容は「家事」が45.3% (4,885人) と最も多くを占めた。
- ◆「兄弟姉妹の世話/送迎など」「見守り」「外出の付き添い」「感情面のサポート」が20%台を占めている。
- ◆学年が上がるにつれ、「兄弟姉妹のケア/送迎など」は減少し、「感情面のサポート」が増加した。



	回答数	家事	兄弟姉妹の世話/送迎など	見守り	外出の付き添い	感情面のサポート	身体的な介護	通訳	薬の管理	通院の付き添い	金銭管理	その他	不明 (無回答)
合計	10,782	4,885 45.3%	3,202 29.7%	2,929 27.2%	2,842 26.4%	2,681 24.9%	1,061 9.8%	709 6.6%	510 4.7%	449 4.2%	269 2.5%	369 3.4%	293 2.7%
小学生計	3,034	1,221 40.2%	972 32.0%	769 25.4%	719 23.7%	540 17.8%	318 10.5%	148 4.9%	164 5.4%	101 3.3%	66 2.2%	138 4.6%	160 5.3%
中学生計	4,354	2,058 47.3%	1,382 31.7%	1,271 29.2%	1,244 28.6%	1,174 27.0%	409 9.4%	307 7.1%	201 4.6%	178 4.1%	112 2.6%	146 3.4%	30 0.7%
高校生計	3,394	1,606 47.3%	848 25.0%	889 26.2%	879 25.9%	967 28.5%	334 9.8%	254 7.5%	145 4.3%	170 5.0%	91 2.7%	85 2.5%	103 3.0%

【2-2（4）ケアの頻度】

- ◆ケアの頻度は「ほぼ毎日」が41.8%（4,502人）最も多くを占めた。
- ◆学年ごとの大きな差はない。
- ◆国の調査と比較して、「ほぼ毎日」の割合は低く、「週に1日～2日」「1ヶ月に数日」の割合が高い。



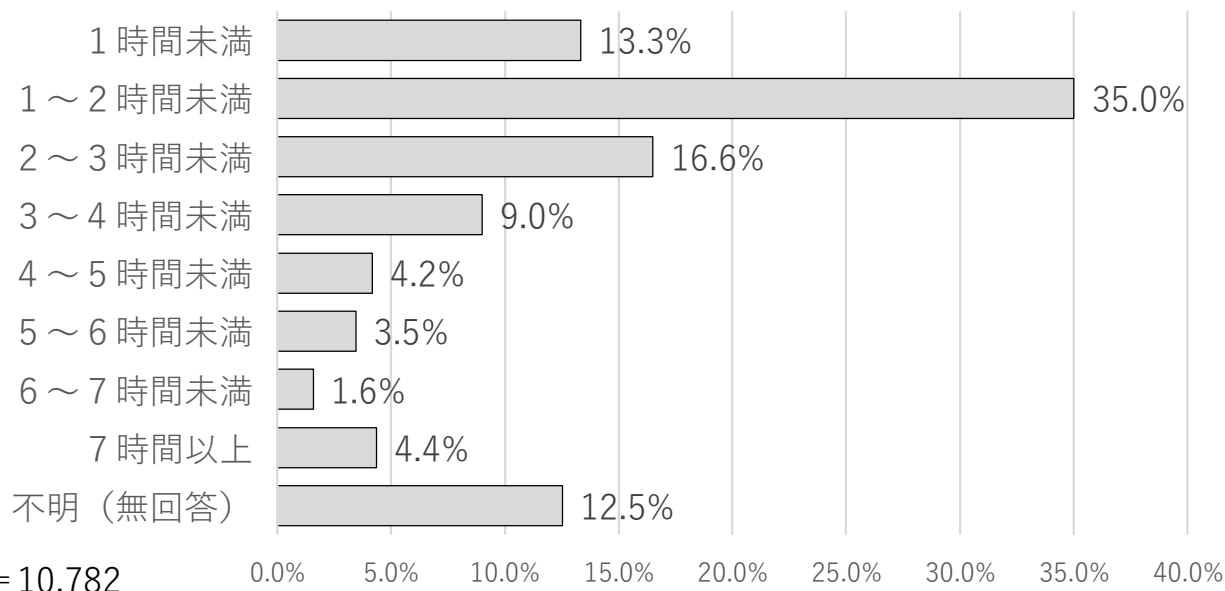
	回答数	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1ヶ月に数日	その他	不明（無回答）
合計	10,782	4,502 41.8%	2,036 18.9%	2,378 22.1%	1,146 10.6%	337 3.1%	405 3.8%
小学生計	3,034	1,334 44.0%	511 16.8%	629 20.7%	275 9.1%	88 2.9%	198 6.5%
国調査	631	52.9%	16.0%	14.4%	5.5%	1.4%	9.7%
中学生計	4,354	1,787 41.0%	893 20.5%	961 22.1%	499 11.5%	164 3.8%	64 1.5%
国調査	319	45.1%	17.9%	14.4%	4.7%	4.1%	13.8%
高校生計	3,394	1,381 40.7%	632 18.6%	788 23.2%	372 11.0%	85 2.5%	143 4.2%
国調査	307	47.6%	16.9%	10.4%	6.8%	2.0%	16.3%

【2-2 (5) ケアの時間】

◆ケアの時間は「1～2時間」が最も多く35%（3,777人）である。一方、「7時間以上」と回答した割合も4.4%（470人）あった。

◆学年ごとの差はない。

◆国の調査と比較すると、短い時間を回答した割合が高い。



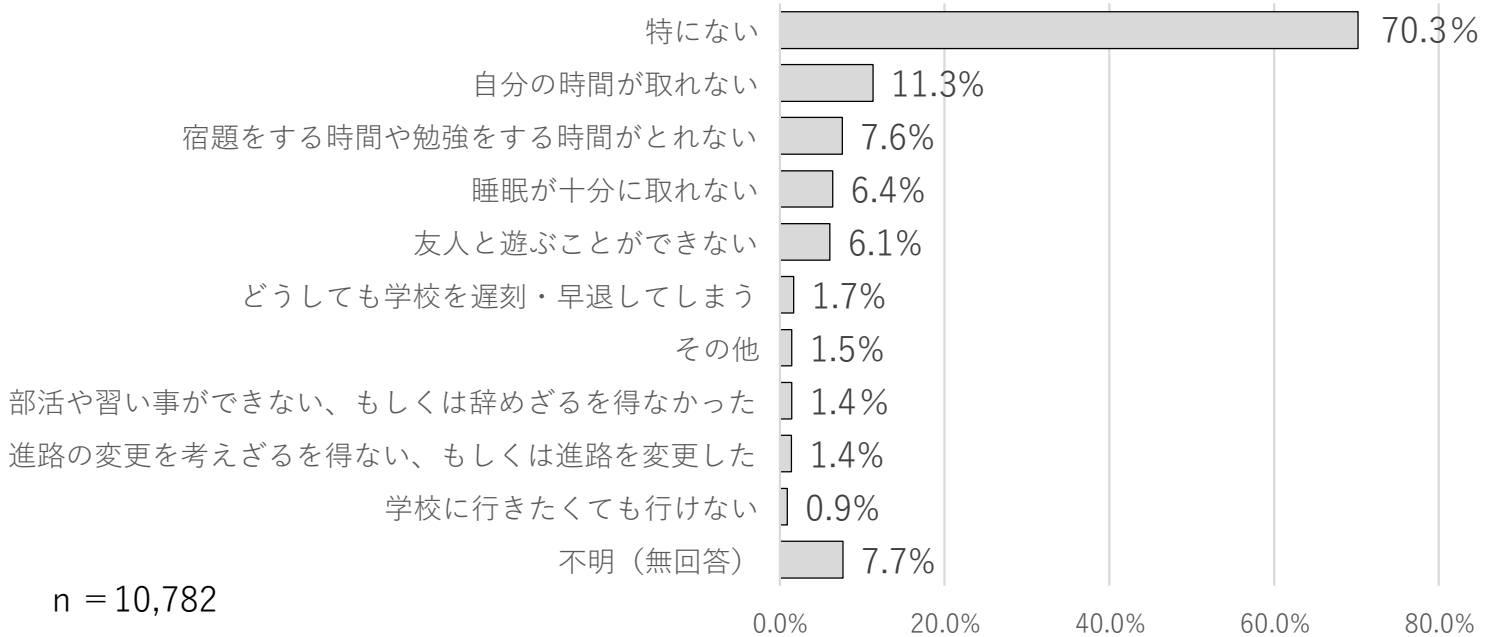
	回答数	1時間未満					3～7時間未満					7時間以上	不明（無回答）
		1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6～7時間未満	3～7時間未満				
合計	10,782	1,432 13.3%	3,777 35.0%	1,785 16.6%	6,994 64.9%	975 9.0%	448 4.2%	375 3.5%	169 1.6%	1,967 18.2%	470 4.4%	1,351 12.5%	
小学生計	3,034	412 13.6%	1,027 33.9%	430 14.2%	1,869 61.6%	268 8.8%	123 4.1%	109 3.6%	61 2.0%	561 18.5%	176 5.8%	428 14.1%	
国調査	631	7.4%	27.4%	17.6%	52.4%	9.5%	5.4%	5.2%	2.7%	22.8%	7.1%	17.6%	
中学生計	4,354	604 13.9%	1,539 35.4%	778 17.9%	2,921 67.1%	390 9.0%	166 3.8%	161 3.7%	64 1.5%	781 17.9%	186 4.3%	466 10.7%	
国調査	319	-	-	-	42.0%	-	-	-	-	21.9%	11.6%	24.5%	
高校生計	3,394	416 12.3%	1,211 35.7%	577 17.0%	2,204 64.9%	317 9.3%	159 4.7%	105 3.1%	44 1.3%	625 18.4%	108 3.2%	457 13.5%	
国調査	307	-	-	-	35.8%	-	-	-	-	24.4%	10.7%	29.0%	

【2-2 (6) ケアを行うことであてはまること（学校生活等への影響）】

(複数回答)

◆ケアを行うことで学校生活等に影響があるのは、「特にない」(7,575人)と「不明」(825人)を除くと、回答者の約4分の1の(2,382人)である。

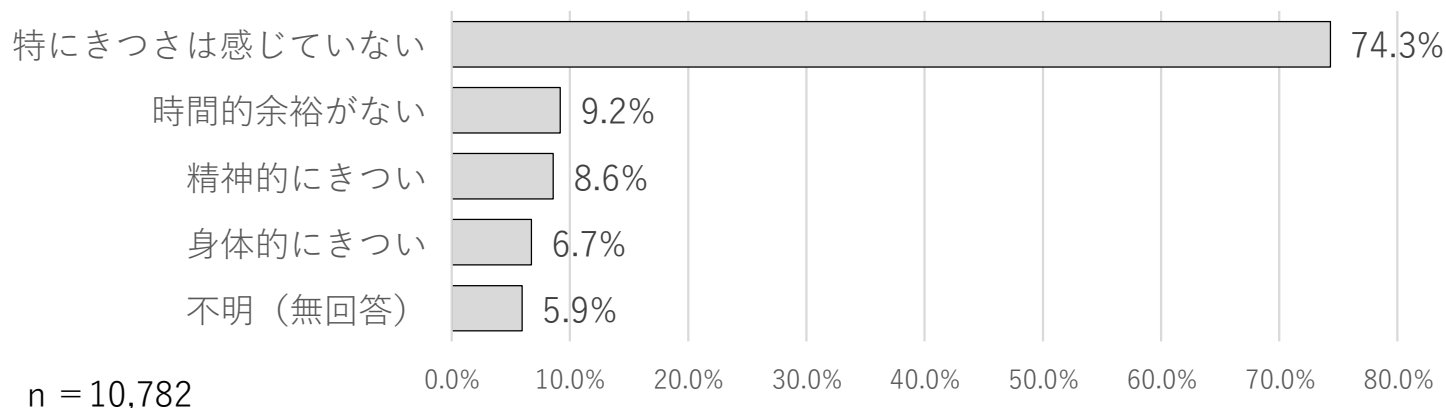
◆一方、「どうしても学校を遅刻・早退してしまう」1.7%(184人)「進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した」が1.4%(155人)「学校に行きたくても行けない」が0.9%(98人)など、深刻な回答もあった。



	回答数	特にない	自分の時間が取れない	宿題をする時間や勉強をする時間がとれない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	その他	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	学校に行きたくても行けない	不明(無回答)
合計	10,782	7,575 70.3%	1,223 11.3%	816 7.6%	690 6.4%	653 6.1%	184 1.7%	163 1.5%	156 1.4%	155 1.4%	98 0.9%	825 7.7%
小学生計	3,034	2,048 67.5%	335 11.0%	197 6.5%	201 6.6%	180 5.9%	47 1.6%	39 1.3%	49 1.6%	21 0.7%	23 0.8%	286 9.4%
国調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中学生計	4,354	3,114 71.5%	516 11.9%	380 8.7%	299 6.9%	288 6.6%	67 1.5%	67 1.5%	54 1.2%	50 1.2%	29 0.7%	274 6.3%
国調査	319	58.0%	20.1%	16.0%	8.5%	8.5%	2.5%	0.3%	4.7%	4.1%	1.6%	10.7%
高校生計	3,394	2,413 71.1%	372 11.0%	239 7.0%	190 5.6%	185 5.5%	70 2.1%	57 1.7%	53 1.6%	84 2.5%	46 1.4%	265 7.8%
国調査	307	52.1%	16.6%	13.0%	11.1%	11.4%	2.9%	1.6%	2.3%	5.5%	1.0%	16.0%

【2-2（7）ケアを行うことにきつさを感じるか】

- ◆ケアを行うことでのきつさについては、「特にきつさを感じていない」が74.3%（8,013人）を占めた。
- ◆小学生では「身体的にきつい」との回答が多いが、中学・高校生では「精神的にきつい」「時間的にきつい」との回答が多い。
- ◆国の調査と比較すると「特にきつさは感じていない」の割合が高く、「精神的にきつい」「時間的余裕がない」の割合が低い傾向にあった。



	回答数	特にかつさは感じていない	時間的余裕がない	精神的にかつさい	身体的にかつさい	不明（無回答）
合計	10,782	8,013 74.3%	988 9.2%	928 8.6%	725 6.7%	640 5.9%
小学生計	3,034	2,086 68.8%	225 7.4%	191 6.3%	450 14.8%	260 8.6%
国調査	631	57.4%	14.6%	18.4%	13.9%	8.7%
中学生計	4,354	3,387 77.8%	417 9.6%	406 9.3%	174 4.0%	182 4.2%
国調査	319	60.5%	16.0%	15.0%	6.6%	13.2%
高校生計	3,394	2,540 74.8%	346 10.2%	331 9.8%	101 3.0%	198 5.8%
国調査	307	52.1%	16.9%	19.9%	6.5%	16.0%

2-3 性別やケアの相手別における状況

【2-3 (1) 性別によるケアの有無】

◆「ケアの有無」については、性別による大きな差はない。

クロス集計表⑩ 「(回答者の)性別」(縦) × 「ケアの有無」(横)

	回答数	いる	いない
合計	235,458	10,782 4.6%	224,676 95.4%
男性	117,977	4,857 4.1%	112,829 95.6%
女性	112,563	5,556 4.9%	106,665 94.8%
性別不明	4,918	369 7.5%	5,182 105.4%

【2-3 (2) 性別によるケアの相手】

◆「ケアの相手」についても大きな差は見られなかったが、「父親」については男性がケアをしている割合が高く、「兄弟姉妹」については女性がケアをしている割合が高い傾向にあった。

クロス集計表⑫ 「(回答者の)性別」(縦) × 「ケアの相手」(横)

	回答数	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	その他	不明 (無回答)
合計	10,782	3,713 34.4%	1,728 16.0%	1,792 16.6%	1,026 9.5%	5,374 49.8%	668 6.2%	437 4.1%
男性	4,857	1,788 36.8%	933 19.2%	812 16.7%	518 10.7%	2,209 45.5%	295 6.1%	235 4.8%
女性	5,556	1,780 32.0%	724 13.0%	929 16.7%	474 8.5%	2,987 53.8%	348 6.3%	184 3.3%
性別不明	369	145 39.3%	71 19.2%	51 13.8%	34 9.2%	178 48.2%	25 6.8%	18 4.9%

【2-3 (3) 性別によるケアの頻度】

◆「ケアの頻度」については、性別による回答割合に大きな差はない。

クロス集計表⑬ 「(回答者の)性別」(縦) × 「ケアの頻度」(横)

	回答数	ほぼ毎日	週に1～2日	週に3～5日	1ヶ月に数日	その他	不明(無回答)
合計	10,782	4,502 41.8%	2,378 22.1%	2,036 18.9%	1,146 10.6%	337 3.1%	405 3.8%
男性	4,857	1,961 40.4%	1,109 22.8%	886 18.2%	552 11.4%	145 3.0%	209 4.3%
女性	5,556	2,372 42.7%	1,200 21.6%	1,089 19.6%	555 10.0%	177 3.2%	177 3.2%
性別不明	369	169 45.8%	69 18.7%	61 16.5%	39 10.6%	15 4.1%	19 5.2%

【2-3 (4) 性別によるケアの時間】

◆「ケアの時間」については、男性にあっては2時間未満の割合が相対的に高く、女性にあっては2時間以上の割合が相対的に高い。

クロス集計表⑭ 「(回答者の)性別」(縦) × 「ケアの時間」(横)

	回答数	1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6～7時間未満	7時間以上	不明(無回答)
合計	10,782	1,432 13.3%	3,777 35.0%	1,785 16.6%	975 9.0%	448 4.2%	375 3.5%	169 1.6%	470 4.4%	1,351 12.5%
男性	4,857	785 16.2%	1,767 36.4%	761 15.7%	386 8.0%	159 3.3%	158 3.3%	65 1.3%	192 4.0%	584 12.0%
女性	5,556	592 10.7%	1,899 34.2%	963 17.3%	556 10.0%	272 4.9%	210 3.8%	96 1.7%	262 4.7%	706 12.7%
性別不明	369	55 14.9%	111 30.1%	61 16.5%	33 8.9%	17 4.6%	7 1.9%	8 2.2%	16 4.3%	61 16.5%

【2-3（5）相手によるケアの頻度】

- ◆「兄弟姉妹」のケアにあっては、相対的に「ほぼ毎日」の割合が高く、「1カ月に数日」の割合が低い。
- ◆「祖母」「祖父」のケアにあっては相対的に「ほぼ毎日」の割合が低く、「1カ月に数日」の割合が高い。

クロス集計表②⑤「ケアの相手」（縦）×「ケアの頻度」（横）

	回答数	ほぼ毎日	週に1～2日	週に3～5日	1ヶ月に数日	その他	不明（無回答）
合計	14,738	6,378 43.3%	3,114 21.1%	2,842 19.3%	1,467 10.0%	435 3.0%	539 3.7%
母親	3,713	1,538 41.4%	834 22.5%	716 19.3%	382 10.3%	122 3.3%	132 3.6%
父親	1,728	803 46.5%	341 19.7%	338 19.6%	173 10.0%	55 3.2%	23 1.3%
祖母	1,792	649 36.2%	464 25.9%	331 18.5%	262 14.6%	68 3.8%	24 1.3%
祖父	1,026	360 35.1%	247 24.1%	207 20.2%	161 15.7%	37 3.6%	15 1.5%
兄弟姉妹	5,374	2,680 49.9%	1,057 19.7%	1,095 20.4%	400 7.4%	111 2.1%	40 0.7%
その他	668	299 44.8%	133 19.9%	126 18.9%	71 10.6%	36 5.4%	8 1.2%
不明（無回答）	437	49 11.2%	38 8.7%	29 6.6%	18 4.1%	6 1.4%	297 68.0%

【2-3（6）相手によるケアの時間】

◆「兄弟姉妹」のケアにあっては「1時間未満」の割合が低い。

クロス集計表②⑥「ケアの相手」（縦）×「ケアの時間」（横）

	回答数	1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6～7時間未満	7時間以上	不明（無回答）
合計	14,738	1,896 12.9%	5,158 35.0%	2,492 16.9%	1,330 9.0%	605 4.1%	494 3.4%	241 1.6%	708 4.8%	1,814 12.3%
母親	3,713	571 15.4%	1,426 38.4%	560 15.1%	253 6.8%	111 3.0%	93 2.5%	46 1.2%	166 4.5%	487 13.1%
父親	1,728	252 14.6%	627 36.3%	286 16.6%	142 8.2%	51 3.0%	51 3.0%	26 1.5%	91 5.3%	202 11.7%
祖母	1,792	246 13.7%	659 36.8%	308 17.2%	159 8.9%	76 4.2%	50 2.8%	29 1.6%	81 4.5%	184 10.3%
祖父	1,026	148 14.4%	350 34.1%	193 18.8%	113 11.0%	33 3.2%	25 2.4%	13 1.3%	48 4.7%	103 10.0%
兄弟姉妹	5,374	532 9.9%	1,821 33.9%	1,029 19.2%	602 11.2%	296 5.5%	246 4.6%	112 2.1%	281 5.2%	455 8.5%
その他	668	108 16.2%	231 34.6%	102 15.3%	58 8.7%	32 4.8%	23 3.4%	15 2.3%	37 5.5%	62 9.3%
不明（無回答）	437	39 8.9%	44 10.1%	14 3.2%	3 0.7%	6 1.4%	6 1.4%	0 0.0%	4 0.9%	321 73.5%

【2-3（7）相手によるケアの内容】

- ◆「母親」「父親」については、「家事」「通訳」の割合が相対的に高く、家事全般や外国籍の親に代わって通訳業務を行っていることが推察される。
- ◆「祖母」「祖父」は「身体的な介護」「通院の付き添い」「感情面のサポート」「見守り」「薬の管理」の割合が相対的に高い傾向にあり、介護に関係するケアを行っていることが推察される。
- ◆「兄弟姉妹」については「兄弟姉妹の世話／送迎など」「見守り」の割合が相対的に高い。

クロス集計表⑰「ケアの相手」（縦）×「ケアの内容」（横）

	回答数	家事	兄弟姉妹の世話／送迎など	身体的な介護	外出の付き添い	通院の付き添い	感情面のサポート	見守り	通訳	金銭管理	薬の管理	その他	不明（無回答）
合計	14,738	7,736 52.5%	4,283 29.1%	1,425 9.7%	4,561 31.0%	835 5.7%	4,212 28.6%	3,893 26.4%	1,257 8.5%	572 3.9%	859 5.8%	473 3.2%	318 2.2%
母親	3,713	2,599 70.0%	604 16.3%	225 6.1%	1,336 36.0%	243 6.5%	1,198 32.3%	542 14.6%	505 13.6%	186 5.0%	222 6.0%	71 1.9%	22 0.6%
父親	1,728	1,197 69.3%	296 17.1%	137 7.9%	645 37.3%	152 8.8%	505 29.2%	291 16.8%	295 17.1%	125 7.2%	135 7.8%	49 2.8%	13 0.8%
祖母	1,792	793 44.3%	185 10.3%	236 13.2%	653 36.4%	154 8.6%	655 36.6%	680 38.0%	93 5.2%	88 4.9%	192 10.7%	75 4.2%	13 0.7%
祖父	1,026	458 44.6%	100 9.8%	161 15.7%	355 34.6%	100 9.8%	368 35.9%	443 43.2%	59 5.8%	55 5.4%	116 11.3%	48 4.7%	5 0.5%
兄弟姉妹	5,374	2,263 42.1%	2,958 55.0%	555 10.3%	1,306 24.3%	149 2.8%	1,289 24.0%	1,686 31.4%	257 4.8%	101 1.9%	151 2.8%	131 2.4%	25 0.5%
その他	668	288 43.1%	121 18.1%	92 13.8%	221 33.1%	29 4.3%	164 24.6%	223 33.4%	36 5.4%	10 1.5%	34 5.1%	91 13.6%	4 0.6%
不明（無回答）	437	138 31.6%	19 4.4%	19 4.4%	45 10.3%	8 1.8%	33 7.6%	28 6.4%	12 2.8%	7 1.6%	9 2.1%	8 1.8%	236 54.0%

2-4 ケアを行うことによる学校生活・身体等への影響

【2-4 (1) ケアの時間による学校生活等への影響】

- ◆「特にない」を除き、ケアの時間が増えるほどに、あてはまることの割合が増加している。
- ◆ケアの時間が3時間以上になると「宿題をする時間や勉強をする時間がとれない」「睡眠が十分に取れない」「友人と遊ぶことができない」「部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった」「進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した」「自分の時間が取れない」の割合も高くなる。
- ◆ケアの時間が5時間以上になると「学校に行きたくても行けない」「どうしても学校を遅刻・早退してしまう」との回答の割合の増加が顕著となる。
- ◆「7時間以上」であっても「特にない」と回答した者が54.5%（256人）を占めており、ケアが当たり前になり、生活への影響を自覚していない者がいることも推察される。

クロス集計表②「ケアの時間」（縦）×「あてはまること（学校生活等に影響がでること）」（横）

	回答数	学校に行きたくても行けない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強をする時間がとれない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	その他	特にない	不明（無回答）
合計	10,782	98 0.9%	184 1.7%	816 7.6%	690 6.4%	653 6.1%	156 1.4%	155 1.4%	1,223 11.3%	163 1.5%	7,575 70.3%	825 7.7%
1時間未満	1,432	5 0.4%	8 0.6%	26 1.8%	32 2.2%	26 1.8%	4 0.3%	9 0.6%	55 3.8%	22 1.5%	1,235 86.2%	67 4.7%
1～2時間未満	3,777	15 0.4%	29 0.8%	185 4.9%	147 3.9%	139 3.7%	38 1.0%	32 0.9%	323 8.6%	44 1.2%	2,949 78.1%	180 4.8%
2～3時間未満	1,785	11 0.6%	32 1.8%	179 10.0%	124 7.0%	138 7.7%	27 1.5%	22 1.2%	251 14.1%	27 1.5%	1,247 69.9%	58 3.3%
3～4時間未満	975	7 0.7%	17 1.7%	120 12.3%	105 10.8%	98 10.1%	28 2.9%	23 2.4%	172 17.6%	13 1.3%	615 63.1%	37 3.8%
4～5時間未満	448	3 0.7%	12 2.7%	76 17.0%	57 12.7%	47 10.5%	15 3.4%	12 2.7%	99 22.1%	2 0.5%	261 58.3%	13 2.9%
5～6時間未満	375	9 2.4%	15 4.0%	56 14.9%	43 11.5%	50 13.3%	5 1.3%	8 2.1%	84 22.4%	9 2.4%	239 63.7%	8 2.1%
6～7時間未満	169	6 3.6%	14 8.3%	35 20.7%	34 20.1%	30 17.8%	6 3.6%	7 4.1%	48 28.4%	6 3.6%	81 47.9%	8 4.7%
7時間以上	470	16 3.4%	30 6.4%	77 16.4%	83 17.7%	73 15.5%	14 3.0%	24 5.1%	98 20.9%	13 2.8%	256 54.5%	24 5.1%
不明（無回答）	1,351	26 1.9%	27 2.0%	62 4.6%	65 4.8%	52 3.9%	19 1.4%	18 1.3%	93 6.9%	27 2.0%	692 51.2%	430 31.8%

【2-4 (2) ケアの内容による学校生活等への影響】

- ◆「通院の付き添い」「通訳」「金銭管理」「薬の管理」については、相対的に「学校に行きたくてもいけない」「どうしても学校を遅刻・早退してしまう」「進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した」の割合が高い。さらに、「金銭管理」については、「部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった」の割合が相対的に高い。
- ◆こうしたケアを行っている者は、ケアの負担が特に高くなっていることが推察される。

クロス集計表⑳「ケアの内容」(縦)×「あてはまること(学校生活等に影響が出ること)」(横)

	合計	学校に行きたくても行けない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強をする時間がとれない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	その他	特にない	不明(無回答)
回答数	20,199	214 1.1%	530 2.6%	2,051 10.2%	1,799 8.9%	1,670 8.3%	405 2.0%	478 2.4%	2,973 14.7%	369 1.8%	13,562 67.1%	1,352 6.7%
家事	4,885	60 1.2%	122 2.5%	503 10.3%	443 9.1%	391 8.0%	99 2.0%	100 2.1%	691 14.2%	64 1.3%	3,233 66.2%	339 6.9%
兄弟姉妹の世話/送迎など	3,202	25 0.8%	75 2.3%	375 11.7%	256 8.0%	287 9.0%	61 1.9%	57 1.8%	522 16.3%	48 1.5%	2,162 67.5%	153 4.8%
身体的な介護	1,061	12 1.1%	32 3.0%	98 9.2%	96 9.1%	83 7.8%	20 1.9%	24 2.3%	158 14.9%	22 2.1%	746 70.3%	44 4.2%
外出の付き添い	2,842	21 0.7%	67 2.4%	282 9.9%	258 9.1%	260 9.2%	49 1.7%	65 2.3%	417 14.7%	37 1.3%	1,960 69.0%	168 5.9%
通院の付き添い	449	15 3.3%	33 7.4%	53 11.8%	59 13.1%	56 12.5%	13 2.9%	21 4.7%	77 17.2%	8 1.8%	279 62.1%	28 6.2%
感情面のサポート	2,681	22 0.8%	51 1.9%	262 9.8%	261 9.7%	191 7.1%	55 2.1%	79 3.0%	403 15.0%	73 2.7%	1,830 68.3%	147 5.5%
見守り	2,929	23 0.8%	63 2.2%	274 9.4%	235 8.0%	215 7.3%	57 2.0%	58 2.0%	413 14.1%	63 2.2%	2,099 71.7%	115 3.9%
通訳	709	14 2.0%	39 5.5%	81 11.4%	61 8.6%	74 10.4%	15 2.1%	28 4.0%	105 14.8%	18 2.5%	460 64.9%	42 5.9%
金銭管理	269	6 2.2%	14 5.2%	30 11.2%	33 12.3%	34 12.6%	14 5.2%	16 6.0%	46 17.1%	8 3.0%	161 59.9%	22 8.2%
薬の管理	510	10 2.0%	23 4.5%	62 12.2%	62 12.2%	52 10.2%	14 2.8%	19 3.7%	93 18.2%	13 2.6%	317 62.2%	33 6.5%
その他	369	4 1.1%	10 2.7%	27 7.3%	32 8.7%	26 7.1%	7 1.9%	10 2.7%	46 12.5%	15 4.1%	279 75.6%	15 4.1%
不明(無回答)	293	2 0.7%	1 0.3%	4 1.4%	3 1.0%	1 0.3%	1 0.3%	1 0.3%	2 0.7%	0 0.0%	36 12.3%	246 84.0%

【2-4 (3) ケアの相手による学校生活等への影響】

◆「母親」については「学校に行きたくても行けない」割合が相対的に高い。また、「父親」については「進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した」が相対的に高く、「母親」「父親」をケアしている者は、学校生活に影響を及ぼすような深刻なケアを行っている可能性があることが推察される。

◆「兄弟姉妹」については「宿題をする時間や勉強をする時間がとれない」「友人と遊ぶことができない」「自分の時間がとれない」の割合が相対的に高く、「兄弟姉妹」をケアしている者は、自分の時間をケアに充てていることが推察される。

クロス集計表②⑦「ケアの相手」(縦) × 「あてはまること(学校生活等に影響が出ること)」(横)

	回答数	学校に行きたくても行けない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強をする時間がとれない	睡眠が十分に取れない	友人と遊ぶことができない	部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した	自分の時間が取れない	その他	特にない	不明(無回答)
合計	14,738	131 0.9%	281 1.9%	1,161 7.9%	1,037 7.0%	945 6.4%	244 1.7%	235 1.6%	1,739 11.8%	239 1.6%	10,214 69.3%	1,187 8.1%
母親	3,713	53 1.4%	81 2.2%	263 7.1%	266 7.2%	230 6.2%	66 1.8%	75 2.0%	411 11.1%	63 1.7%	2,536 68.3%	317 8.5%
父親	1,728	15 0.9%	36 2.1%	128 7.4%	127 7.4%	105 6.1%	35 2.0%	38 2.2%	183 10.6%	33 1.9%	1,216 70.4%	133 7.7%
祖母	1,792	13 0.7%	23 1.3%	115 6.4%	113 6.3%	94 5.3%	29 1.6%	20 1.1%	196 10.9%	36 2.0%	1,324 73.9%	106 5.9%
祖父	1,026	5 0.5%	16 1.6%	63 6.1%	66 6.4%	55 5.4%	22 2.1%	18 1.8%	92 9.0%	12 1.2%	779 75.9%	56 5.5%
兄弟姉妹	5,374	40 0.7%	107 2.0%	527 9.8%	403 7.5%	403 7.5%	83 1.5%	75 1.4%	763 14.2%	79 1.5%	3,758 69.9%	247 4.6%
その他	668	4 0.6%	13 2.0%	58 8.7%	48 7.2%	45 6.7%	8 1.2%	7 1.1%	78 11.7%	16 2.4%	495 74.1%	34 5.1%
不明(無回答)	437	1 0.2%	5 1.1%	7 1.6%	14 3.2%	13 3.0%	1 0.2%	2 0.5%	16 3.7%	0 0.0%	106 24.3%	294 67.3%

【2-4 (4) ケアの時間による身体等への影響】

◆世話の時間が3時間を超えると相対的に割合が高くなり、6時間を超えると影響が顕著に高くなる。

◆「7時間以上」であっても「特にきつさは感じていない」と回答した者が62.3%（293人）を占めており、ケアをすることが当たり前になり、きつさを自覚できていない者がいることが推察される。

クロス集計表②④「ケアの時間」（縦）×「きつさ」（横）

	回答数	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にきつさは感じていない	不明（無回答）
合計	10,782	725 6.7%	928 8.6%	988 9.2%	8,013 74.3%	640 5.9%
1時間未満	1,432	41 2.9%	83 5.8%	45 3.1%	1,245 86.9%	37 2.6%
1～2時間未満	3,777	174 4.6%	251 6.7%	248 6.6%	3,109 82.3%	86 2.3%
2～3時間未満	1,785	128 7.2%	182 10.2%	224 12.6%	1,319 73.9%	28 1.6%
3～4時間未満	975	99 10.2%	113 11.6%	152 15.6%	657 67.4%	30 3.1%
4～5時間未満	448	48 10.7%	53 11.8%	79 17.6%	303 67.6%	8 1.8%
5～6時間未満	375	43 11.5%	30 8.0%	58 15.5%	260 69.3%	9 2.4%
6～7時間未満	169	23 13.6%	25 14.8%	24 14.2%	105 62.1%	7 4.1%
7時間以上	470	87 18.5%	87 18.5%	78 16.6%	293 62.3%	19 4.0%
不明（無回答）	1,351	82 6.1%	104 7.7%	80 5.9%	722 53.4%	416 30.8%

【2-4 (5) ケアの内容による身体等への影響】

- ◆「感情面のサポート」については、「精神的にきつい」の割合が相対的に高い。
- ◆「金銭管理」「薬の管理」については、「身体的にきつい」「時間的余裕がない」の割合が相対的に高い。

クロス集計表②「ケアの内容」(縦) (複数回答) × 「きつさ」(横)

	回答数	身体的にきつい	精神的にきつい	時間的余裕がない	特にきつさは感じていない	不明(無回答)
合計	20,199	1,622 8.0%	2,075 10.3%	2,347 11.6%	14,572 72.1%	1,012 5.0%
家事	4,885	398 8.2%	445 9.1%	606 12.4%	3,536 72.4%	230 4.7%
兄弟姉妹の世話/送迎など	3,202	268 8.4%	239 7.5%	400 12.5%	2,385 74.5%	116 3.6%
身体的な介護	1,061	94 8.9%	109 10.3%	114 10.7%	782 73.7%	37 3.5%
外出の付き添い	2,842	230 8.1%	243 8.6%	347 12.2%	2,118 74.5%	105 3.7%
通院の付き添い	449	48 10.7%	53 11.8%	62 13.8%	307 68.4%	23 5.1%
感情面のサポート	2,681	183 6.8%	443 16.5%	309 11.5%	1,875 69.9%	87 3.3%
見守り	2,929	221 7.6%	328 11.2%	275 9.4%	2,203 75.2%	96 3.3%
通訳	709	55 7.8%	78 11.0%	85 12.0%	529 74.6%	26 3.7%
金銭管理	269	33 12.3%	33 12.3%	40 14.9%	175 65.1%	18 6.7%
薬の管理	510	52 10.2%	67 13.1%	74 14.5%	340 66.7%	24 4.7%
その他	369	35 9.5%	33 8.9%	32 8.7%	281 76.2%	9 2.4%
不明(無回答)	293	5 1.7%	4 1.4%	3 1.0%	41 14.0%	241 82.3%

【2-4 (6) ケアの相手による身体等への影響】

- ◆「母親」については「身体的にきつい」「精神的にきつい」の割合が相対的に高い。
- ◆「祖母」については「精神的にきつい」の割合が相対的に高い。
- ◆「時間的余裕がない」については、「兄弟姉妹」の割合が相対的に高い。
- ◆「母親」については、ケアによる身体・精神面での負担が大きいことが推察される。一方、「兄弟姉妹」については、ケアによる時間面での負担が大きいことが推察される。

クロス集計表⑳「ケアの相手」(縦) × 「きつさ」(横)

	回答数	身体的に きつい	精神的に きつい	時間的 余裕が ない	特に きつい 感じが ない	不明 (無 回答)
合計	14,738	1,079 7.3%	1,275 8.7%	1,395 9.5%	10,854 73.7%	891 6.1%
母親	3,713	309 8.3%	357 9.6%	336 9.1%	2682 72.2%	246 6.6%
父親	1,728	132 7.6%	153 8.9%	151 8.7%	1292 74.8%	79 4.6%
祖母	1,792	114 6.4%	185 10.3%	163 9.1%	1347 75.2%	60 3.4%
祖父	1,026	61 6.0%	90 8.8%	78 7.6%	796 77.6%	41 4.0%
兄弟姉妹	5,374	406 7.6%	424 7.9%	588 10.9%	4093 76.2%	170 3.2%
その他	668	42 6.3%	50 7.5%	65 9.7%	521 78.0%	20 3.0%
不明(無回答)	437	15 3.4%	16 3.7%	14 3.2%	123 28.2%	275 62.9%

2-5 自由記述欄（主な意見）

【ケアに対する意識】

区分	内容
学校生活等への影響・負担	<ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭のため家事などは負担することはしょうがないことだと考えていましたが、アンケートにより、自分がそのことをどう思っていたかを自覚することができました。（中学1年 女性） ・家族のためにやるのはいいことだけど、たまには休憩がほしいです。（中学1年 女性） ・親には話さないで！（中学1年 女性） ・進路変更が辛かった。（高校3年 男性） ・欠席扱いとなり進級に影響する。学校の理解がない。（高校3年 男性） ・身体ケアばかりに目が行ってる気がします、私ほうまれてからずっと精神ケアをしています。自殺を考える子もいるほど辛いです。毎日朝から夜まで人間関係の相談をきくところを想像して下さい！！。（高校3年 女性）
やりがい・当たり前の行動	<ul style="list-style-type: none"> ・お母さんも大変だから特にきつくはない！（小学6年 女性） ・自分が少しでも母の役に立てればと思っているので、特につらさはありません。（中学1年 女性） ・家の方針で家事や兄弟の世話は当たり前となっています。（高校3年 女性）

【ケアを必要とする家族の状況】

区分	内容
家族の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・妹が障害をもっているので世話している。（小学5年生 男性） ・僕は病気の母のために色々やってあげている、父にアルコールやギャンブルをやめてほしい。（小学6年生 男性） ・私の兄はあまりてのかかる障害ではないので意外と簡単です。（小学6年生 女性） ・障害のある弟の面倒をみているが幸せだからキツイとはあまり思わない。（中学2年 男性） ・祖母が認知症、父が脳出血で入院中のため母に頼まれて行ってます。（中学2年 女性） ・母子家庭なので家事を手伝ったりするが特につらい思いはしていない。（中学3年 女性） ・両親は日本語、義弟は中国語が不得意なので、両方できるぼくがいつもたくさんの言語とかかかわる役割を担っていて、時に親の日本語力では解決できない時にぼくが同行することもある。（高校1年 男性） ・母親がギャンブルをする。お金をたくさん使ってしまう。生活費なども帰ってくるのが遅い。（高校1年 男性）

【ヤングケアラーに必要なだと思う支援・要望】

区分	内容
支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーさんのような人がいてくれると、ありがたいです。（中学2年 女性） ・金銭的な支援。（中学3年 女性）
相談場所について	<ul style="list-style-type: none"> ・相談する場所を増やせばいいと思う。（小学6年生） ・気軽に相談できるスクールカウンセラーのようなものが学校にあるといいと思う。（中学1年 女性） ・身近に簡単に相談できるよう、スマホでのアプリ、サイトがあると、あまり直に話さなくても相談できると思います。（中学3年 女性） ・人に話すだけでも気が楽になる人は少しでもいると思うのでそういうのを話せる場を設けるといいと思う。（中学3年 女性） ・大人は怖くて、相談できない人もいます。（中学3年 女性） ・ケアしている人同士で交流したりして「私だけじゃない」という意見を持たせることも大事なのかと思った。（高校3年 男性）
ヤングケアラーの理解について	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラーの支援を広げていくために、定期的にこういうアンケートをしていくことが必要だと思う。（中学1年 女性） ・もっとヤングケアラーのことを知ってほしい。ヤングケアラーの授業をしてほしい。（中学2年 女性） ・子供が多い家族ではどうしても大きい上の子供がヤングケアラーになってしまうのは仕方がないように思います。もっと地域や市からの支援をしていくことが必要だと思う。（中学3年 女性）
積極的な支援	<ul style="list-style-type: none"> ・友達にヤングケアラーがおり、時間、身体、精神的余裕が無いとともに、進路への口出しをしてきたり、お世話の見返りもなく、誕生日プレゼントが何が良いか聞くと、「休み」と答えた。さらに拒食症ぎみである。助けられるなら助けてあげてほしい。（中学3年 女性） ・1人で抱え込んでしまい精神的にきつくなってしまう人が多いと思うので、悩みごとを聞くことが良いと思う。（中学2年 女性）

3 実態調査結果を踏まえた支援の必要性に関する考察

1 ヤングケアラーの様態について

- (1) ケアを行っている子どもは、その相手として、兄弟姉妹や母親をはじめ、様々な家族をケアしている。またケアの内容として家事や兄弟姉妹の世話、見守り、外出の付き添い、感情面のサポートなど、多岐にわたるケアを行っているため、支援を行う際は多様なヤングケアラー像を想定する必要がある。
- (2) 「ケアを行うことによる学校生活等への影響は特にない」「ケアを行うことにきつきを感じていない」と回答した子どもが70%を占めたことから、いわゆるお手伝いの範囲で回答した子どももいることが推察される一方、日常的にケアが当たり前となり、支援の必要性を自覚できていない子どもがいることも推察される。
- (3) 自由記述欄において「気軽に相談できる場所」についての要望が複数あった。これは子どもにとって、家庭におけるケアを学校や行政機関の相談窓口で相談をすることが難しく、声の上げられないヤングケアラーがいることや、同じ悩みを抱えた子ども同士で交流ができる場が求められていると推察される。

2 ヤングケアラーの支援について

- (1) ヤングケアラーのケアの相手は多様であり、また様々なケアを行っているため、特定の部署や機関がヤングケアラーに対応するのではなく、福祉部門全体（子ども・困窮・障害・高齢）や教育部門と地域の関係機関が連携し、ヤングケアラー1人1人の課題に応じた支援を行うことができる体制を整える必要がある。
- (2) 支援の必要性を自覚できない子どももいることが想定されるため、福祉関係機関や教育関係機関にヤングケアラーについての研修を行い、早期にヤングケアラー状態にある子どもを発見する人材育成を行う必要がある。
- (3) ケアの悩みを気軽に相談できる場が求められているため、インターネット上での相談体制や、同じ悩みを抱えた者同士で交流・助言が行えるピアサポートによる相談の場の設置など、行政以外での相談体制を整える必要がある。